

あおば

発行: おぐに荘保護者会

新潟県長岡市小国町新町 852-4

救護施設 おぐに荘

TEL 0258-95-3400

FAX 0258-95-3451

ホームページ <http://www.kashikari-fukushi.com>



第38号

SAFETYNET

保護者会より (保護者会会長挨拶)

保護者の皆様へ



保護者会 会長
伊丹 文男

四月の保護者会総会には、多数の皆様から出席をいただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

総会後の花見会では、歌や踊りがあり、おぐに荘の職員紹介等、楽しい一時を過ごすことが出来ました。

総会では、保護者会費の記念事業積立金を今年の令和元年より、徴収せずに通帳を解約することに決定いたしました。解約した残金は、保護者会全体の通帳に繰り入れ、おぐに荘の創立40周年(2021年6月)に、記念品の贈呈をすることになりました。これは、社会福祉法人の改革での透明性の確保ということで、施設以外の通帳管理の見直しをしたことにより、今回の決定になりました。この記念事業積立金は、おぐに荘で生活する利用者の皆様が安心して過ごしやすい環境作りのため、保護者会の感謝の気持ちとしての記念品贈呈でしたが、今年から従来の保護者会費だけになりました。さて、今年もおぐに荘では桜が咲

き、花壇には花が咲き始めました。6月の協力活動では、花壇に花を植えた草取りを実施しますが、庭に花が咲けば、心が明るくなり、おぐに荘での生活が過ごしやすくなると思います。保護者会では、今後も安心して過ごしやすい環境作りの事業をしていきたいと思っております。また、各事業では、面会日ということでもあり、利用者の皆様の楽しみの一つになっています。今回、選任された役員一同協力して事業活動に当たりますので、皆様のご参加をお願いいたします。



理事長挨拶

『シンボルマーク』に 込めた想い



理事長
高橋 敏郎

今年を思いのほか小雪であったように思いますが、厳しい冬に変わりはなく春が待ち遠しい日々を過ごしました。地元柏崎の2月の新聞に八石山の残雪の雪形で大仏様の寝姿が現れたという記事も目にしました。山は昔から地域にとって大切な存在なので、厚く御礼を申し上げます。

今回は、私達柏崎刈羽福祉事業協会のシンボルマークが制定されたことをご紹介したいと思います。当法人は60年の長い歴史を有していましたが、シンボルマークやロゴマークがありませんでした。そこで、利用者や職員に愛され誇りに思えるシンボルマークを定めて、気持ちを一つにして福祉サービスに取り組み、法人の魅力を発信したいと考えました。

昨年一年をかけて職員からアイデアを募って案をしばらく、職員の人気投票を行って決定したのがこのシンボルマークです。いかがですか。

全体を円形に集め、木の葉を構成しており、手のひら(福祉の担い手、スキル)、ハート(思いやり、優しさ)、柏の葉(柏崎地域)をモチーフにしています。中央には笑顔(利用者や地域の方々、職員のスマイル)を配して、七色を使って虹色の木をイメージしています。

ロゴマークは笑顔一杯で、信頼される法人を目指して『ともに笑い、ともに生きる』としました。職員に選んでもらったシンボルマークを、私ほども気に入っています。利用者や保護者の皆さまからも、是非愛着を感じていただけると有り難いと思っています。

シンボルマークの様に利用者の皆さまとおぐに荘職員が、笑顔で日々の生活を送れますよう、今後ともよろしくご支援のほどお願いいたします。



施設長挨拶

いろいろな

楽しいことを

始めました



施設長

山崎美千代

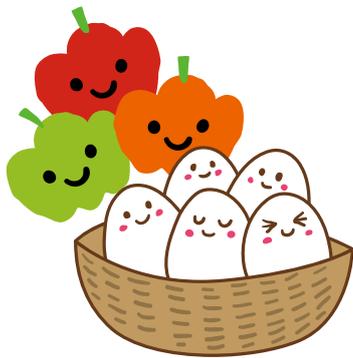
保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には日頃からおぐに荘の運営にご理解、ご協力頂き感謝申し上げます。

4月に開催致しました保護者会総会には多くの方からご参加を頂きありがとうございます。総会内で令和元年度の『おぐに荘事業計画』を説明させて頂きました。総会後の利用者様との『花見会』では、暖冬によりこの時期には珍しく裏の桜が満開となっており、本当の『花見会』をさせて頂くことができました。花見会は美味しいお弁当と、自慢の喉を披露頂き、楽しく盛り上がる会となりました。ご都合で欠席された保護者の皆様、来年は裏の桜と美味しいお弁当も含めてご参加頂ければと思います。

さて、おぐに荘は6月1日の令和最初の開所記念日で38周年となります。利用者様の平均年齢も68歳と高齢化が進んでいます。施設の老朽化も含めて昨年

より、おぐに荘の将来について検討を行っております。

また、利用者様の満足度を上げていくことを最優先に、「施設整備」を始め「サービスの検討」「食のイベント」など職員はそれぞれの職種に合わせた取組みを協議し、提供させて頂いております。「食のイベント」では、利用者様の要望に合わせて、マドレーヌ作りやカレーライス作りを行いました。マドレーヌは普段お菓子作りの機会のない方が中心に作り、その日のおやつとして全員で頂きました。焼きたての「マドレーヌ」は「温かくて、甘くてとっても美味しい!!」と大好評でした。作った方々も皆さんに褒めて頂き本当に嬉しそうでした。カレーライス作りも大成功でした。今度はおやつバイキングです。利用者様の笑顔が目に見えます。



令和元年度 保護者会活動年間予定

4月20日(土)・・・保護者会総会・花見会(第1回面会日)

6月15日(土)・・・保護者会協力活動(第2回面会日)

11月9日(土)・・・ふれあいまつり(第3回面会日)



利用者の皆さんは面会をとっても楽しみにされております。多くの方の参加をお待ちしております。また、面会日以外の面会も大歓迎です。

平成30年度 保護者会活動 ～活動風景～

保護者会総会・花見会



保護者会協力活動



ふれあいまつり



楽しく生活していただくために



おぐに荘では、利用者の皆様から、楽しく生き生きと生活して頂くために、利用者の希望を聞きながら、日課・活動・行事の見直しを行っています。ここでは、昨年度及び、今年の4月から新たに始めた日課と行事を紹介します。今後も、利用者の希望を聞きながら、支援を行っていきます。

食のイベント

季節感を味わい、楽しみの一つである食を通じて、利用者自身が調理を行い、コミュニケーションを図ることをコンセプトに、昨年度から食のイベントを行っています。2月は、マドレーヌ作りを行いました。今年度は、年4回、カレーライス・流しそうめん・焼き芋作り・おやつ作りを行う予定です。利用者からは、「美味しかった。楽しかったので、またやりたい。」という感想があがっています。ここでは、2月のマドレーヌ作りを紹介します。



いきいき活動

「今日は、自分の好きな活動がない。いろいろな活動をしたい」という利用者の皆様の意見をもとに、今年の4月から、毎週木曜日の午後の日課として、いきいき活動を行うことになりました。2～3種類の活動の中から、好きな活動を選んで、参加してもらっています。ここでは、とある日のいきいき活動の様子を紹介します。

ちぎり絵



草取り



足ふきマット



飾り作り

職員研修について

利用者の皆様から、安心かつ楽しく生活して頂くためには、職員の資質向上が必要になってきます。おぐに荘では、「外部研修への参加・講師を招いての研修・外部研修に参加した職員の報告会・事例検討発表会」という職員研修を行っています。ここでは、職員研修の一部を紹介します。今後も、職員研修を行い、職員の資質向上に繋げていきます。



精神科認定看護師による研修

精神病院に勤務されている精神科の認定看護師を講師としてお招きし、不穏や暴力行為のある方の対応や精神薬についての研修を行いました。



精神病院から入所される利用者も増えてきているため、今後も継続して研修を行い、精神疾患のある利用者への支援の向上に努めていきます。

普通救命講習Ⅰ

長岡消防署小国出張所の署員をお招きし、普通救命講習Ⅰの研修を行っています。心肺蘇生法の実技講習、AEDの実技講習、誤飲・誤嚥時の対応についての実技講習、緊急時における搬送方法を教えて頂いています。



事例検討発表会

おぐに荘では、日々の業務や支援内容を検討し、発表する事例検討発表会を行っています。昨年度からは、各部署から、事例をあげて発表してもらい、最も素晴らしい事例については、おぐに荘を代表して、法人内の事例発表会に参加し、発表しています。



精神病院との職員交換研修

精神病院から入所される利用者が増えてきている現状があり、今後もこの傾向は続くと思われれます。そのため、精神病院から救護施設へ移行する際に、充実した生活を送ることが出来るように、支援の状況を共有し連携するために、精神病院と救護施設の職員交換研修を行っています。写真は、おぐに荘の職員が、精神病院で研修をしている様子です。



今年度の職員研修予定

- ・第三者評価 ・地域公益的活動 ・作業療法士による研修
- ・普通救命講習Ⅰ ・精神科認定看護師による研修 ・チームワークアプローチ
- ・認定看護師による感染症に対する標準予防 ・個別支援計画書の研修
- ・交通安全、地域移行に関するDVD研修
- ・事例検討発表会 ・外部研修に参加した職員の報告会

おぐに荘の行事

おぐに荘では、利用者の皆さんに楽しんで頂けるような行事を計画し、実施しています。



夜桜會

毎年8月、夜桜會の皆様が、おぐに荘へ御神輿の披露に来て下さっています。大きく煌びやかな御神輿、迫力ある掛け声に、手に汗を握りながら、見入ってしまいます。また、御神輿を担ぐ体験もさせて頂き、皆さん大興奮していました。



カラオケ外出

おぐに荘の利用者は、カラオケ好きな方が多いです。おぐに荘のカラオケ機器で歌うだけでは物足りないと話す利用者も多いです。そのため年に2回、カラオケボックスで自慢の歌声を披露しています。カラオケボックスで気持ちよく歌うのも楽しみですが、ドリンクバーで好きな飲み物やアイスを食べることが出来ることも、カラオケボックスの魅力の1つです。



クリスマス・忘年会

クリスマス・忘年会は、年末の大きな行事です。鶏肉料理やサンドイッチなど、クリスマスの雰囲気を感じることが出来る昼食に、大満足。また、サンタクロースからプレゼントをもらうことができます。「今年のプレゼントは何かないか」と毎年、楽しみにしています。



塗り絵展

毎年2月に塗り絵展を行っています。4つの図柄から、好きな図柄を選び、塗り絵をしています。上位入賞者には、豪華賞品がもらえることもあり、絵画教室へ参加し、余暇時間などにも塗り絵を練習している利用者も多いです。



新任職員紹介

今年度は2人の新任職員がおぐに荘のスタッフに加わりました。2名とも異動職員です。5つの質問に答えてもらいます！

アンケート項目

- ① マイブームは？
- ② アピールポイントは？
- ③ 好きな言葉は？
- ④ 福祉の仕事に就くきっかけは？
- ⑤ おぐに荘で働く上での意気込みをどうぞ！



生活指導係長 山本浩宣

- ① 最近買った炭酸水メーカーで、スパークリングドリンク作りにはまっています。自分で手軽にハイボールが作れるので、毎日の晩酌がより楽しみになっています。
- ② 今の時期から夏にかけ、日焼け具合が加速します。
- ③ 「やさしい」。人から言われて一番嬉しい言葉です。人には能力の差こそあっても「やさしさ」だけは、自身の心がけ次第なので、どんな時でも誰にでも、やさしい人でありたいと思っています。
- ④ 昔のことで、もうほとんど覚えていません。福祉系の学校に通っていたので、福祉の業界を選んだことは、自然の成り行きだったのかもしれませんが。
- ⑤ 毎日が新鮮です。今のフレッシュな気持ちを忘れず、日々、誠実に仕事に励むつもりです。少しでも早く仕事を覚え、おぐに荘の職員として、堂々戦えるよう頑張ります。ご指導よろしくをお願いします。



介護員 安達裕一

- ① 将棋とサッカーです。将棋は子供の頃、父親とよく指していました。今でも実家に帰ると、指しています。サッカーも子供の頃から大好きで、今でもJリーグ発足の最初の試合のことは、とてもよく覚えています。
- ② 特に自慢できるような所はないのですが、人には優しいとたまに言われます。
- ③ Simple is best です。え…… 以上です。
- ④ 専門学校は、福祉科ではなかったのですが、友人の話聞いて、福祉分野に興味を持ったからです。
- ⑤ これまでの老健、特養、デイサービス、ショートステイの経験を活かして、おぐに荘のより良いサービスの向上に力を注いで参ります。

社会福祉法人 柏崎刈羽福祉事業協会

経営理念 私たちは、地域の福祉事業の主たる担い手として、利用者の尊厳を守り、万全な福祉サービスを提供するとともに健全経営に努めます。

- 基本方針
- ① 入所者・利用者の人格と尊厳を守り、安心・安全な生活と良質なサービスの提供に努めます。
 - ② 透明性を確保し、健全経営に努めます。
 - ③ 福祉人材を育成し、働きやすく魅力有る職場づくりに努めます。
 - ④ 福祉のセーフティネットとしての役割を果たし、社会的弱者の支援に努めます。
 - ⑤ 福祉文化の創造を目指して地域・社会に貢献します。

ボランティア大募集



利用者の話し相手、草取り、施設整備等、慰問も大歓迎です！ボランティアに興味のある方は是非連絡して下さい。

連絡先

● 救護施設 おぐに荘
TEL 0258-95-3400
(担当：佐藤、山本)

平成30年度利用者動向

- 退所者
男性：4名 女性7名 ※合計11名
- 新入所者
男性：3名 女性4名 ※合計7名



皆様の善意に感謝します

ボランティア

順不同

- のぎくの会様
- 小国独居老人ボランティア様
- 小国町老人クラブ様
- ラーメン親父の会様
- 原田 英 昌 様
- 船橋英昌会様
- 英昌会小国支部様
- 小国秀踊会様
- 民謡教室様
- 青柳 閑様 (手芸教室講師)
- 橘 会様 (生花教室講師)
- 植木 幸子様 (踊り教室講師)
- 中沢 裕子様 (踊り教室講師)
- 稲波 恵子様 (かきかた教室講師)
- 相波 純子様 (けんこつ体操講師)
- 荒井 友香様 (絵画教室講師)
- 山崎豊土様・愛子様 (笑いと健康教室講師)
- ゆうあいグループ様
- ホーム喫茶「さくら」様
- 小国町理容組合様
- 小国中学校様
- 小国小学校様

新町盆踊り実行委員会様

盆踊りボランティア様 (運営補助)

り ん様 (よさこいグループ)

夕 渚 愛様

夜 桜 會様

長永寺ほのぼの子供会様

ウイラニメアフラ様

砂塚百合子様

寄贈者一覧

長永寺ほのぼの子供会様

コカコーラボトラーズジャパン(株)様

(株)第四銀行様

小国町商工会様

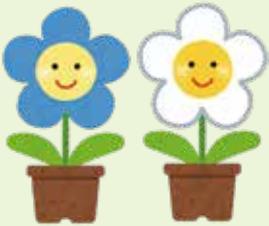
(株)米 峰様

原田 英 昌 様

辺見 市 郎 様

清水 誠 一 様

安川 清 子 様



苦情相談について

救護施設おぐに荘では提供する福祉サービスについて、随時苦情相談を受け付けています。ご意見、ご要望、苦情等ありましたら遠慮なく苦情受け付け担当者、第三者委員にご相談下さい。誠意をもって話し合いを行い解決、改善に努めます。

- 苦情解決担当者 山崎美千代 (おぐに荘 園長)
- 苦情受付担当者 遠藤 和哉 (おぐに荘 次長)
- 第三者委員
 - 小野塚正之 (新潟県柏崎市中浜1丁目8番29号)
 - 宮田知津子 (新潟県柏崎市学校町4番75号)
 - 砂塚 一美 (新潟県柏崎市石曾根276)

- 苦情相談の申し出
 - 苦情担当者、第三者委員に直接お話し下さい。
 - また、電話、書面、面談でも受け付けます。

電 話 0258-95-3400

苦情受付窓口は、おぐに荘事務室に設置しています。苦情の受付に際し、プライバシーについては十分に配慮いたします。

職員動向

新任職員

救護施設かしわ荘

山 本 浩 宣 (生活指導係長)

特別養護老人ホームむつみ荘

安 達 裕 一 (介護員)

転出職員

養護老人ホーム御山荘

水 落 大 輔 (主任生活指導員)

特別養護老人ホームなごみ荘

大 橋 慶 子 (介護員)

編 集 後 記

昨年度は、定員変更・居宅生活訓練事業の第二期・保護施設通所事業を行い、変化が多い一年でした。このような状況でしたが、全職員が力を合わせたことで、変化の波を越える事が出来たと思います。

今年度も、利用者のやりたい事、やってみたい事が一つでも実現出来るように、全職員で協力して支援していきたいと思っています。

最後になりますが、皆様からのこれからも変わらないご指導と、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。